

美しい島に、透明な風、 はじける光、鮮やかな緑。 そして仙人ゆかりの絶世の酒。

名水湧き出す久米島北部・宇江城。その昔、夕暮れ時ともなると絶世の美女が現れ、野良仕事帰りの若者達に神酒をふるまっては、言い知れぬ酔い心地へ誘った。人々はこれを宇江城山に住む仙人の仕業と噂しました。「久米島の久米仙」の名は、その「久米の仙人」の言い伝えにあやかって生まれた現代の神水です。



自然が育む変わらぬ泡盛造り。

豊かな自然に囲まれた久米島で、限りなく醇美な泡盛を造る。これも品質の高い泡盛造りには欠かせぬ条件です。水は天然の湧き水を使用し、米は厳選された南方硬質米、近代的な設備を用いながらも、麴やもろみ造りは人の手で限りなく自然に近い状態で行います。こうしたこだわりが皆様方より高い信頼をいただいております。



涼澄美酒

— RYŪCHŌBISYU —

西暦七百年の古の頃、琉球の粋を集めた美しい島として「球美島（くみしま）」の名で呼ばれた久米島。沖縄本島の西方海上に位置し、羽を広げた蝶のようなシルエットで浮かぶこの美しい島は、360度を珊瑚礁に抱かれ、豊かな自然と水に恵まれ、限りなく澄み渡る泡盛を生みだす。その涼やかな味わいは、碧き海にも似て美しい。